

令和6年度

学校経営方針等

上尾市立平方小学校長

令和6年度

上尾市立平方小学校 学校経営方針

校長 大野 和孝

令和6年度のキャッチフレーズ

4 S (新化・深化・伸化・進化)

- ・新化…教員として、新しいことにチャレンジする。【課題発見】
- ・深化…チャレンジを継続し、深く掘り下げる。【実行・継続】
- ・伸化…新しいスキルを身に付け、自身の長所を広げ、伸ばす。【スキルアップ】
- ・進化…教師としてのレベルアップを達成する。【レベルアップ】

1 学校経営の基本理念 —ほめる教育の推進・深化・定着、自己有用感を高める—

今年度も、学校全体で「ほめる教育」を推進していく。子供たち一人一人のよさを見つけ、認め、ほめて、さらに伸ばし、子供たちの自己有用感を高める。子供たちのよさを見つけるためには、種をまき、しっかりと子供たち一人一人を見つめ、可能性を信じ、寄り添い、対話を繰り返していかなければならない。

2 学校教育目標

『心豊かでたくましく 共に生きる子ども』

3 学校経営の方針

(1)めざす学校像

- 子供が目を輝かせ、生き生きとしている学校
- 教師としての喜びを味わえる学校
- 家庭や地域と連携し合う学校

(2)めざす児童像

- 進んで学ぶ子
 - ・自ら課題を見つけ進んで学ぶ子供
 - ・筋道を立てて考え、よりよく表現し合う子供
 - ⇒ 分かる授業やほめる教育を実践して子供の学習意欲を高める。
ICTを活用したスモールステップの学習
- 共に生きる子
 - ・自他の違いを肯定し、他者を思いやり、助け合って最後までやり遂げる子供
 - ・広い心を持ち、仲間を大切にしている子供
 - ⇒ 道徳教育・特別活動の充実
- 明るくたくましい子
 - ・心身ともに健康でたくましい子供
 - ・いつでも、どこでも誰にでもあいさつし、時間を守る子供
 - ⇒ 学校課題研究の充実（体育科）

※自他の相違を肯定的に捉え、相手に優しくできる自己を確立し、夢や希望に向かって前向きに努力し、友達や大人から信頼され、頼られる児童を育成する。

→そのために平方小の合言葉『あいうえお』の徹底

「あ」…あいさつをしっかりと

→ 自分から進んであいさつをする。

「い」…命を大切にす

→ 健康に気をつけ、安全で楽しい生活を送る。

→ 早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付ける。

→ 規則正しい生活習慣を身に付ける。

「う」…運動をがんばる

→ 進んで体を動かし、たくましい心と体を養う。

「え」…笑顔いっぱい

→ いじめはしない、させない、許さない、強い意志をもつ。

→ 友達と互いの考えを尊重しながら学び合う。

→ 学校や家庭、地域のルールを守り社会の一員としての責任をもつ。

「お」…終わりまでしっかりと

→ 一時間一時間の授業に集中する。

→ 授業中は、あきらめずに最後まで真剣に考える。

→ 毎日、必ず家庭学習をする。

→ 朝読書にしっかりと取り組み、本を読む習慣を身に付ける。

(3)めざす教師像

○向上心を持ち、常に学び続ける教師

○児童を理解し、児童を大切にす教師

○教職に対する強い情熱を持ち、人間性豊かな教師

※児童・保護者・地域・同僚から信頼され、授業で勝負し、頼られる教師を目指す。

→そのために

①教育は感化、自らの人間性を常に磨き続ける。

②謙虚な姿勢で、丁寧な言葉や立ち振る舞いを身に付ける。

③児童を信じ、児童の心に寄り添い、温かい人間関係を築く。

④分かる授業の実現のため、教材研究を続ける。

⑤児童の努力やよさを認め、褒め、児童の自己有用感・自己肯定感を育てる。

⑥教えるから学ばせ、児童に学び方を指導する。

⑦児童の好奇心を揺さぶり、学習意欲を引き出す。

⑧各時間のめあてを示し、児童に達成感を味わわせる。

⑨学び合いを促し、児童に学びがいを実感させる。

⑩ICT機器を有効に活用し、児童の理解を深めさせる。

⑪生徒指導、教育相談のスキルを高め、児童・保護者との信頼関係を築く。

⑫傾聴力を高め、丁寧な対話で保護者・地域と協力的な関係を築く。

(4)めざす家庭・地域像

○子供に家族としての役割をもたせ、励ます家庭

○安全・安心な環境づくりに取り組み、子供を見守り育てる地域

○学校・家庭・地域がそれぞれ補完しあう関係（CPTA*）

*CPTA…Community-Parent-Teacher Association（地域-保護者-教師）

4 学校経営の重点

「チーム平方小」：コミュニティ・スクール7年目の今年度も学校・家庭・地域が一体となった「地域と共に歩む学校」を目指していく。

(1) 特色ある学校の創造

- 幼保小連携の充実
 - ・全校交流活動、園児・児童との交流、職員間交流
 - ・積極的な学校公開
- 小中一貫教育の充実
 - ・太平中学校との情報の共有（教育課程、生徒指導等）
 - ・平方東小学校、平方北小学校との情報共有

(2) 開かれた学校の創造：地域で学ぶ・地域に学ぶ・地域に愛される

- コミュニティ・スクールの充実
 - 「共有」…地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有する。
 - 「協議」…学校運営に地域の人々が「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動していく。
 - 「マネジメント」…地域との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営を行っていく。

(3) 安心・安全な学校の創造

- 「黙動」の徹底
 - ・清掃、教室移動、集団行動
- 学校安全体制の確立
 - ・安全点検の充実、登下校指導、不審者対策の強化、食物アレルギー対応の徹底
- 感染症対策の徹底
 - ・健康観察の実施、児童の健康状態の把握
 - ・こまめな手洗い、規則正しい生活の指導

5 今年度の重点

(1) 学力向上…最重点課題

- 基礎・基本の徹底
 - 繰り返し学習（読み・書き・計算）の徹底、基礎学力の向上、学習規律の徹底、個に応じた指導、汎用的指導スキルの発揮、ICTを活用したスモールステップ学習の実施等。
- 各学力調査の結果の Check & Action
- 分かる授業の実践
 - 児童の実態に合わせた、学習内容をかみ砕いた授業の実践。児童に「分かる」、「できる」を実感させる授業の実践。
- ICTを活用したスモールステップ学習
 - デジタルドリルを活用し、児童一人一人がスモールステップで学習内容を理解するとともに繰り返し学習をすることで、基礎・基本を定着させる。
- 授業を深化させる ～主体的・対話的で深い学びの実現～
 - 学習指導要領の目標や内容を学び、実践するとともに、学校教育目標の具現化を目指して創意ある教育活動を展開する。また、児童一人一人の資質・能力を最大限に伸ばすため、個々の「よさ」の発見と生きる力を育む学習指導の工夫・改善に努める。特に「少人数指導や習熟度別学習」「ICTを活用した授業づくり」「伝え合いの授業づくり」に、積極的に取り組んでいく。また、「主体的・対話的で深い学び」の全教科での実践と教科等の横断的な学習づくりの実践を進めていく。

(2) 規範意識の高揚

- 基本的な生活習慣の確立
 - ・ あいさつ、返事、片付け、集団生活のルールやマナーの徹底
- いじめ対応
 - ・ 道徳教育、人権教育の充実、スローガンの掲示、豊かな人間関係の醸成、学年・学級経営の充実、いじめの早期発見・早期解決（アンテナを高く掲げる、初動体制の整備）、組織的な対応
- 不登校対応
 - ・ 不登校対策委員会を中心として組織的に未然防止・早期発見・早期支援を推進

(3) 特別支援教育の充実

- 交流教育の充実・自立支援、交流学級との連携（ゲストではなく仲間として）
- 教育相談体制の充実・個別の指導計画の活用、教育相談日の活用、関係機関との連携

(4) 教職員の資質の向上

- 研修の充実
 - ・ 授業力や専門性の向上を目指した研修や、特別支援教育にかかる研修の充実。
 - ・ 学校課題研究を通して教師の授業力を育成。
 - ・ 生徒指導、教育相談の資質向上を目指した研修の充実。
- 教育公務員としての使命と自覚
 - ・ 教職員事故ゼロ、サービスの厳正、礼儀作法（言葉遣い、あいさつ、服装等）
- 「学校の働き方改革」のさらなる推進
 - ・ めりはりのある仕事のあり方
 - ・ ICT、校務システムの積極的活用